

会長挨拶

日頃より、私共、千代田区青少年委員会の活動にご理解ご協力を賜りまして誠に有り難うございます。私共は、次世代を担う子供たちと触れ合える喜びとそのことの重責を感じつつ日々活動をいたしております。時代の変化と共に、学校、家庭など子ども達を取り巻く環境は大きく変化しておりますが、私共の活動においてもそれに対応する動きの必要性を痛感しているところです。そのような中で、私共はこれまで通り、イベントを通じて、思いやり、善悪の判断、礼儀など、人として大切なものを地域の立場から、子ども達に伝え続けていきたいと思っております。そしてまた、我々委員一同、活動を通じて一生懸命な姿を彼らに伝えていけるよう誠実に取り組んでまいりますので、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。



瀬谷 達郎

ポニー乗馬会のお知らせ

令和元年10月27日(日)第11回ポニー乗馬会を麴町小学校で開催します。動物とのふれあいは日常では経験できない自然体験の一つです。多くの千代田区の子どもたちにご参加いただきたいと思います。会場では、乗馬や小動物との触れ合いのほかに、読み聞かせと音楽で遊ぼうコーナーも開催します。



日時：令和元年10月27日(日) *雨天中止
時間：午前の部 10:00~12:00
 午後の部 13:00~15:00
場所：麴町小学校校庭
 (千代田区麴町二丁目8番地)
参加資格：区内在住、在学の小学生までのお子様
 *サポートが必要なお子様も参加できます
体験内容：乗馬・馬車・小動物ふれあいコーナー
 読み聞かせ等
参加費：無料
 *詳細は後日、青少年委員会HP等でご案内します。
 *当日の朝、下記HPで開催の確認ができます。
 (午前8時以降)
 <http://www.seishonen.jp>
主催：千代田区青少年委員会
協力：公益財団法人ハーモニセンター

成人の日のつどい

千代田区の成人式は例年ホテルニューオータニで開催です。新成人の中から4名が企画運営委員として1年間準備を重ね、当日を迎えます。全員で楽しむ企画なども・・・お楽しみですよ。参加のご案内については10月初旬に千代田区ホームページ、千代田区広報にて詳細が掲載されます。



中央ブロック定例会

令和元年6月27日港区立生涯学習センターにて、港区主催で中央ブロック定例会(港区、中央区、千代田区)を行いました。今回はグループ毎に地区運営や研修などのテーマについて、フリーディスカッションを行いました。



管外研修

令和元年7月6日~7日、メレーズ軽井沢にて管外研修を行いました。今回は2部構成で、初めに千代田区教育委員会恩田子ども部参事から教育委員会と学校、保護者を取り巻く現状についてお話しいただき、私達が出来た事は何かということを変更して考えさせられました。2部として今年は原点に立ち返り、「青少年委員とは」というテーマを皆で考える機会となりました。お互いを知るために現在の各部会の活動、今後の抱負などを発表しました。



ひがた探検隊

春の部〈干潟体験〉6月9日

春は千葉県木更津市から東京湾に広がる東京湾最大の干潟のひとつ、「盤洲干潟」(ばんずひがた)を探検しました。



夏の部〈すだて漁〉7月15日

夏は「すだて漁」の体験です。潮の干満を利用して仕掛けの中に追い込んだ魚たちを手と網で捕まえ、家にお土産として持ち帰りました。



今後の予定

秋の部〈源泉を求めて〉11月10日

秋は海と川の源となる「源泉さがし」です。コスモスが咲き乱れるコスモスロードを歩き、いっせんぼくの湧き水へ向かいます。



冬の部〈海苔すき〉令和2年2月2日

冬は「海苔すき」体験です。普段口にしていない海苔をみんなで作ります！手形の海苔など、オリジナルのアイデアが光ります。



千代田区 青少年委員だより

Message

2019 夏

Vol.49



子どもたちの目が輝く街にするために
青少年委員は働きます



ホームページもご覧ください
<http://www.seishonen.jp>

千代田区 青少年委員会

検索

千代田区 青少年委員だより Vol.49

発行日 令和元年9月
編集 青少年委員会 広報委員会
発行 子ども部 子ども総務課
電話 03-5211-4274

千代田区の小学校・中学校・中等教育学校に伺いました！

① 今年度学校として一番アピールしたいこと ② 青少年委員に望むこと

九段小学校



中村 裕子 校長(左)
吉井 克憲 副校長(右)

① 昨年度9月に新校舎に移転したばかりの九段小学校です。木の香りと窓から光がこぼれる明るい校舎です。この新校舎は、ICT設備もとても充実しています。プロジェクターがついた可動式のホワイトボードやタブレットを活用した授業に取り組んでいます。来年度から全面実施されるプログラミング教育について、授業研究を進めています。令和2年1月には、成果を発表する予定です。

② 「子どもたちの目が輝く街にする」の目標のもと、子供たちの健全育成のために、自然体験「ひがた探検隊」や動物とのふれあい体験等、様々な取組みに厚く御礼申し上げます。予測困難な未来社会を切り拓く力を子供が備えるには、地域や社会で多くの人と関わり体験を積み重ねることが重要です。学校だけでは実現困難なことを、青少年委員の皆様へ実現していただいています。次代を担う子供に必要なことを今後ぜひ実現いただければ有難く思います。

富士見小学校



霜田 浩明 校長

① 本校は、天然芝の校庭、広大な体育館などを保有する、こども園・児童館が一体となった複合施設の中の校舎になっており、これらの特色を生かした教育活動の創造に取り組んでいる異学年交流が活発で、1年から6年まで一緒に給食を食べたり、休み時間に遊んだりするふれあい班活動、こどもまつりなどを行っている。また、地域・保護者にご協力いただいている12月のふれあいまつりは、毎年児童が楽しみにしている行事の一つになっている。



磯野 智博 副校長

② 児童の健やかな成長のためには、学校だけでなく、地域・保護者・学校と一緒にいっていただくことがとても大切であると思う。その中でも青少年委員は、児童の健全育成に携わりこれまでひがた探検隊など、様々な取り組みがあり児童の楽しみの一つになっている。青少年委員の方には、児童の健全育成、学校と地域の連携を担う一翼として、今後も引き続き学校のサポートをお願いします。



富士見小学校
担当委員
植田修平 長嶋幸



九段中等教育学校
担当委員
岩本亜希子 村木さより



神田一橋中学校
担当委員
木曾小百合 林晴美



お茶の水小学校
担当委員
柿内健介 飯田加世子



千代田小学校
担当委員
佐藤淳司 中村あけみ



昌平小学校
担当委員
松井千恵子 川原耕平



和泉小学校
担当委員
長島里保 木村由香



児童・家庭支援センター
担当委員
大沼英之 鈴木永里名



番町小学校



浅岡 寿郎 校長

① 「広く世に尽くすつづくり148th 番町の気風」を学校経営の理念とし、近代教育の起点である誇りと未来を切り拓く志ある校風を築いていきます。今年度「番町スタイル」の名の下に、子ども一人一人を伸ばし育てる学習環境や学習指導の工夫、学習に向かう意欲や規律の確立を学校全体で取り組んでいます。まさしく、教育の基礎・基本、原点に立ち戻り、番町の教育を地域と共に創り上げていきます。



茅野 克俊 副校長

② 年輩いた私の母は、かつて青少年委員をしていました。教師を志した大学生の頃、青少年委員会主催の潮干狩りに手伝いに行ったことを覚えています。親や先生以外の大人から、褒められたり、叱られたりする経験、様々な社会体験や自然体験がどれだけ人間形成に重要であるかを熟知しているのは青少年委員会の皆様だと確信しています。これからの社会に求められる人間像を、皆様と共に分かち合いたいと思っています。



番町小学校
担当委員
瀬谷達郎 竹川眞紀



九段小学校
担当委員
塩谷公邦 佐竹善幸



麹町小学校
担当委員
花輪里香子 村田直子



麹町中学校
担当委員
満処道昭 水野珠貴



麹町中学校



工藤 勇一 校長(右)
菅原 千保子 副校長(左)

① 教育目標である、「自律(自ら考え、判断し、行動する)、尊重(違いを理解し、他者を尊重する)、創造(豊かな発想をもち、創意工夫する)」を実現できる学校を目指していききたいと思います。

② いつも子どもたちと学校をお見守り下さり感謝しています。コミュニティスクールでもご協力いただきありがとうございます。これからも子どもたちのため、学校のために精力的に活動を続けてほしいと思います。

九段中等教育学校

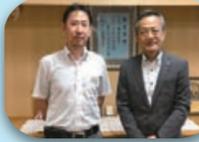


牧野 敦 校長(中)
盛谷 樹 副校長(左)
上村 礼子 副校長(右)

① まずは元気に、ますます充実した学校を目指します。

② 中高一貫校という、多感な時期にあたる生徒を大人数預かる本校にとって、生徒の健全育成や非行の未然防止は、学校に課された重要な使命の一つです。その青少年の健全育成に特化した、しかも地域のネットワークを有する青少年委員さんとの連携は、本校にとって不可欠なつながりです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

麹町小学校



額賀 聡 校長(右)
井田 孝 副校長(左)

① 何と言っても、校内研究への取組です。特別活動領域の「学級会活動」を切り口に、研究授業を重ねているところです。子供も教師もともに伸びる、そして家庭・地域との連携が深まる研究を実現していこうと力を入れています。因みに研究主題は、「多様な考えを認め合い、協働的に学ぶ子 ～いのちの言葉を紡いで～」です。令和2年1月24日には、研究発表会・公開授業を実施いたしますので、是非ご来校くださるようご案内申し上げます。

② 今から20年以上前になりますが、小学校教員代表で青少年委員を拝命していたことを思い出します。手元には、当時いただいた個人名入りの名札が残っています。私の宝物の一つです。そして様々な会合時に、青少年委員の皆様からいただいた助言や励ましは、私のかけがえのない財産として今も生き続けています。これからも変わることなく、学校・園の応援団としてオール千代田にて、お力添えくださいますようお願い申し上げます。

神田一橋中学校



障子 幹 校長



沖山 房人 副校長

① どんなに時代が変わっても求められるもの。それは「人間力」である。という考えのもとに教育活動を展開します。今年度は特に、人間力を高める行事を充実させていきます。日本文化の理解として和太鼓鑑賞教室、心の教育として道徳ライブや命の授業、そしてオリパラ関係として夢・未来プロジェクトやLet's2020など、外部の方々の高い専門性やお力を得ながら教育活動を進めていきます。今年も神田一橋中学校をよろしくお願いいたします。

② 温かく見守っていただき、引き続きご支援いただきたいと思います。

千代田小学校



渡邊 光一 校長(左)
江島 しのぶ 副校長(右)

① 千代田小の朝会や集会での子どもたちの集合の仕方や話の聞き方は最高です。早く集合したクラスはおしゃべり一つせず、全校がそろって集まっていることが分からないほどです。今年度は、子ども一人一人のニーズに合わせてきめ細かな指導・支援をさらに充実させ、授業でできた、わかったという充実感、達成感をもてるようにします。様々な困り感のある子どもへの支援を全校で統一して行っていきます。

② 登校時一緒に付き添い、声掛けをしていただくなどして子どもの安全を考えてくださいます。また、学校側が伝えにくいことも保護者にアドバイスしてくださることもあります。今後とも地域、家庭、学校が三位一体となって子どもたちを健やかに育てていけるよう橋渡しをいただき、お力添えをよろしくお願いいたします。

児童・家庭支援センター



安田 昌一 所長

① 今年度は児童・家庭支援センターの新規事業のひとつに「(仮称)障害児ケアプラン事業」があります。これは障害のある児童が地域で安心して豊かな生活を送ることができるよう共生社会の実現に向けた道すじとして、ライフステージごとにプランを作成して切れ目のない支援や福祉を提供するものです。プランの検討にあたっての会議には青少年委員会からも代表としての委員を選出していただきました。

② 青少年委員の皆さまには、未来への架け橋である子どもたちに寄り添っていただきながら、青少年委員自らが大人と子どもたちの架け橋となっていれば幸いです。子どもたちの健やかな成長を支援していただきながら、地域や行政とも連携を図っていただければ、私ども行政機関としても大変心強い限りです。お呼びに、瀬谷会長をはじめ、委員各位のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。引き続き何卒よろしくお願いいたします。



お茶の水小学校



太田 耕司 校長



岩淵 和行 副校長

① 今年度に限らず、お茶の水小学校の一番の自慢は、お茶の水小学校で働くすべての教職員の熱い想いとチームワークです。教育にも不易と流行はありますが、流行に流されることなく、公立の義務教育を司る学校として、すべての子どもに、人としての基礎となる人間力を培うという不易を忘れることなく日々、努力しています。今年度は、仮校舎への引っ越しが予定されています。今後ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。

② 青少年委員の皆様には、「ひがた探検隊」や「すだて漁」また、「ポニーの乗馬会」など、小学生や幼稚園児を対象とした多くの体験活動を企画・実施していただき子ども達の感性を育てていただいていることに、深く感謝申し上げます。今後さらに多くの子ども達が様々な体験活動に参加できるよう、PR活動と学校との更なる連携を目指して活動していただければと考えております。学校としてもできる限り協力していきたいと考えています。

昌平小学校



清水 明 校長



高橋 伸弥 副校長

① 本校では、「子供たちが学習を進める中でどのように考え方を進めているのか」を追究しています。昨年度までは「論理的思考力を高める指導方法」を明確にしてきました。今年度からは、その論理的思考力を基礎として「プログラミング的思考」や「主体的対話的で深い学び」を実現するための指導方法を追究しています。今後とも、子供の学びのプロセスに沿った指導を心掛け、分かりやすい授業を展開してまいります。

② 本校は、地域の皆様からの深い地域愛に支えられて日々の教育活動を進めてきました。学校、保護者、地域がそれぞれの役割をしっかりと果たしながら力を合わせ、地域の子供たちと一緒に育てていくということは、これまでと同様にこれからも変わらず進めていかなければならないと考えています。その中で、子供の健全育成を進めることもとても大切なことです。一緒に、子供たちを見守り育てていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

和泉小学校



渡辺 裕之 校長



丸山 文生 副校長

① 教育目標「人にやさしく、自分によく、明るく、元気な、和泉の子」のもと、地域に愛される学校を目指して頑張ります。

② 学校行事、地域行事に参加してもらい、子供たちの様子を見てもらえれば嬉しいです。